

# 第14回日韓青年労働者交流

11月9日（事前学習会）～13日にかけて開催された第14回日韓青年労働者交流にJR総連全体で42名、貨物労組青年部から8名で参加してきました。

1日目はチョン・テイル像への献花の後に結団式を行い、①労働者大会を通じてチョン・テイルの精神を現代的に学ぶ。②歴史認識を労働組合の視点で捉え直す。③現在の韓国労働運動を学ぶ。の3つの柱で研修に臨む事を全体で意思統一しました。



チョン・テイル像

2日目は日本大使館前「少女の像」見学、セウォル号ピケ現場訪問、ハルモニ（元従軍慰安婦）との交流、戦争と女性の人権博物館見学、韓国軌道連帯との意見交換会、労働者大会前夜祭に参加しました。



ハルモニと交流

ハルモニとの交流では、「私たちが求めているのはお金ではなく、慰安婦で苦しんだ人々に対して日本政府が公式の場で謝罪してほしいだけ。」と、日本に居るだけでは分からない事実を学ぶ事ができました。

韓国軌道連帯との交流では、「若い人を組織化する」という課題は同じであり、職場活動をいかに盛り上げていくかを意見交換しました。

3日目は西大門刑務所の見学と労働者大会に参加し、韓国労働運動の「熱さ」を肌で感じる事が出来ました。総括会議で参加者から「日本のデモや集会と違って熱さ、本気度を感じた」「ハルモニとの交流が印象に残った。日本が過去に何をしてきたか何も知らなかった。日本に帰ったら職場に伝えていきたい。」等率直な意見が出されました。また、今回の研修では過去の日本帝国主義が犯した事実を学ぶと共に、ハルモニとの交流で改めて戦争で犠牲になるのは弱い立場の人達だということ

を心に刻みました。

将来に亘って安心して働く為に世界で起きている事を学び、真実を見極め、行動する事が重要になってきます。貨物労組青年部として今後も韓国の仲間と交流を深めていきます！



大交流会